

# セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2015年 10月30日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	なかやま ようこ 中山 陽子
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8161
E-mailアドレス	sa-kusei@city.yokohama.jp

## 指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい       いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

--

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

氏 名	所 属	肩書き	備考
			推進協議会長

1-3. 推進組織（SC 推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
第1回栄区セーフコミュニティ推進協議会	2014年5月20日	1. 栄区セーフコミュニティ推進協議会について 2. 平成25年度・平成26年度の栄区セーフコミュニティ活動について 3. その他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2014年6月23日 2015年1月20日	平成25年度の活動実績及び平成26年度の取組目標他 平成26年度の取組について他	
スポーツ・余暇安全対策	2014年6月9日 2014年11月17日 2015年2月26日	平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画について他 分科会設置要綱、上半期の振り返りについて他 サーベイランス分科会、各構成団体、各イベントの報告他	
交通安全対策	2014年4月22日 2014年9月5日 2014年11月5日 2015年2月4日	各種キャンペーン実施の検討、交通事故発生状況の確認他 秋の交通安全運動、スケアードストレート教室の検討他 交通死亡事故抑止の特別交通安全運動の実施について他 春の交通安全運動の検討、高齢者の交通安全対策の検討他	
暴力・虐待予防対策	2014年6月23日 2015年1月28日	こども虐待対応における連携強化指針について他 3年間の振り返り、次年度に向けて他	
高齢者安全対策	2014年9月26日 2015年2月19日	高齢者安全対策分科会について、行動計画について他 ヒートショック対策の取組について、各機関の活動状況他	

災害安全対策	2014年7月16日 2014年12月5日	25年度の活動について、26年度の取組について他 取組進捗状況について、台風第18・19号に伴う対応他	
自殺予防対策	2014年6月19日 2014年8月7日 2015年2月19日	平成25年度の取組について、平成26年度の取組について他 9月自殺対策強化月間及び10月講演会について他 3月自殺対策強化月間について、今後の取組について他	
傷害サーベイランス	2015年2月24日	今後の進め方について、26年度の実績と自己評価について、27年度の取組について他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい  いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 8,880千円（27年度予算額）  
SCの取組の推進 3,000千円、SCフォーラム 2,000千円、プロモーション 3,880千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい  いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

## 指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい  いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		子ども (0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	例) ①〇〇プログラム			
	学校の安全				
	職場の安全				
	余暇・スポーツの安全				
	公共の安全 交通安全				
	自然災害				
意図的要因	暴力 (DV, 虐待含)				
	自傷・自死				

変更した内容について説明してください。

・H27年7月に防犯対策分科会設立

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい  いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

○数値的な効果検証を強化するため、分科会ごとに重点化する取組を定め、新たな指標を作成した。

- ・こども安全対策分科会では、乳幼児のケガ予防のため、リーフレットや地域育児教室などで積極的に養育者に情報を発信。
- ・スポーツ・余暇安全対策分科会では、ケガの原因となる運動不足の解消のため、手軽にできるウォーキングの推進に関する取組を開始。
- ・交通安全対策分科会では、交通事故の減少のため、効果検証の強化を目的として、モデル地点の設定について議論を開始。
- ・暴力・虐待予防対策分科会では、早期に育児不安を解消するため、EPDSによる診断を行い、専門職による継続支援等を実施。
- ・高齢者安全対策分科会では、高齢者の不慮の事故による死亡・重篤の割合が高い「浴槽内での溺死・溺水」事故の原因となるヒートショック対策プロジェクトを開始。
- ・災害時のより身近な避難所として、地域避難所の設置を推進。
- ・一般区民への自殺への関心を高めるため、より身近なメンタルヘルスの観点を取り入れて啓発。

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

### 指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい       いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

--

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

ハイリスク対象	取組内容	成果
	別紙 指標3・4のとおり	

## 指標4 根拠に基づいた取組

4-1. 対策委員会の取組等根拠に基づいた取組の推進状況について記載してください

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

〔対策委員会名：                   〕

課題1		
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	過去1年の実績
プログラム1	①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④過去一年間の改善点	
プログラム2	① ② ③ ④	別紙 指標3・4のとおり
プログラム3	①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④過去一年間の改善点	

4-2. 過去1年間で対策委員会を新たに設置したり取組みを開始した場合、その根拠を示してください。

--

4-3. 過去1年間の取組みのなかで最も成功した事例を少なくとも3つあげてください。

例) その取り組みによってパートナーシップや他の組織との関係が強化された、財源をより確保できた、あるいは得られたアウトカム（成果）など

- ・こども安全対策分科会

「こども110番の家」の普及に向けて、こどもの安全を守る取組をPRするリーフレット等を使った啓発や、地域・保護者が主体となった登録呼び掛け活動の効果もあり、登録件数が増加している。（25年度：2,134軒 → 26年度：2,213軒）

- ・スポーツ・余暇安全対策分科会

スポーツ時のけが予防に関する研修会を開催し、区内の各スポーツ団体から参加。研修会では日本体育協会公認スポーツドクターである栄共済病院の整形外科の先生から、日頃から備えておけることや緊急時の対応などの紹介があり、活発な質疑応答も行われた。

- ・交通安全対策分科会

交通安全マップをWeb化し、過去3年間の事故発生地点を明示することで、地域における交通安全活動への活用を図った。

- ・暴力・虐待予防対策分科会

個別ケース検討会議の開催によって、学校を始めとする関係機関との連携がよりスムーズにできるようになった。

- ・高齢者安全対策分科会

元気づくりステーションの活動支援を推進しており、地域におけるステーション数が増加している。（25年度：7箇所 → 26年度：9箇所）

- ・災害安全対策分科会

地域の方が主体となって、より身近な避難所づくりに取り組んだことで、副次的な効果として防災意識の向上が見られ、防災訓練の参加率や避難所の認知度の向上につながった。（地域防災拠点訓練の参加者数 25年度：23,500人 → 26年度 34,500人）

- ・自殺予防対策分科会

メンタルヘルスネットワーク支援会議に薬剤師も参加するようになり、視点、支援者のネットワークが広がった。



## 指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい  いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

救急搬送データ（栄消防署）【こども安全対策分科会、スポーツ・余暇安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】

交通事故統計データ（栄警察署）【交通安全対策分科会】

人口動態調査【交通安全対策分科会、災害安全対策分科会、自殺予防対策分科会】

災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報【こども安全対策分科会、スポーツ・余暇安全対策分科会、交通安全対策分科会】

児童虐待の新規把握件数（横浜市）【暴力・虐待予防対策分科会】

介護保険認定データ【高齢者安全対策分科会】

栄区民アンケート（栄区）【災害安全対策分科会】

それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい  いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

・指標については、概ね把握しつつあるものの、まだ一部のものが未把握となっている。特定の対象者へのアンケートの実施等、調査方法を検討する必要がある。

・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。

指標6 取組のアセスメント

6-1. 過去1年間のアセスメントを行いましたか？

はい  いいえ

※「はい」の場合、評価の簡単な概要、どのように評価が取組の改善等に反映されているか、などの情報を示してください。また、関連する資料があれば添付してください。・・・・・・ [添付5]

- ・各取組の活動実績及び活動指標による評価
- ・傷害サーベイランス分科会で各種分科会の取組への評価・助言

※「いいえ」の場合、その理由を述べてください

6-2. 対策委員会による取組のアセスメントについて

各対策委員会が進めている取組の評価について述べてください。

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

※「評価指標」については、報告書と一致させてください。変更した場合は、変更点がわかるように赤字で記載してください

[対策委員会： ]

対策名	短期評価 (意識・知識)	中期評価 (態度・行動)	長期評価 (外傷数等状況)
	別紙 指標6のとおり		

**指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）**

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい  いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい  いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい  いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

## a) 国際的なネットワーク

2014年5月 第7回アジア地域セーフコミュニティ会議（韓国釜山政令市）

## b) 国内ネットワーク（視察受け入れ等も含む）

2014年7月 セーフコミュニティ研修会

7月 京都府議会視察受け入れ

10月 泉大津市視察受け入れ

10月 鹿児島市事前審査視察

10月 厚木市事前審査視察

2月 北本市認証式参加

2月 全国SC推進自治体ネットワーク会議参加

2月 日本SC定例会議参加

2月 十和田市再認証式参加

## c) アジア地域の行事等

2014年5月 アジアセーフコミュニティネットワーク会議（韓国釜山政令市）

## 7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

○認証取得に関連した取組

- ・セーフコミュニティの認証を取得した10月を「セーフコミュニティ月間」と定め、これからの発展に向けた「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催。併せて「さかえっ子セーフコミュニティメッセージコンクール」を開催し、区役所や図書館をはじめとする区内各施設で、応募作品などのパネル展示を実施。
- ・広報「よこはま」栄区版10月号でセーフコミュニティを特集し、各分科会の取組を紹介。
- ・セーフコミュニティのパンフレットを作成。（1万部）

○研修・説明等の取組

- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供。
- ・区主催の官公署や企業が集まる会議で、セーフコミュニティの活動について情報提供。
- ・セーフコミュニティ活動の認知度、関心度を向上させるため地区の会合等に出向き、地区センターや区民活動支援協会などで出前講座を実施。

## 8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

・各分科会の取組の重点化

平成30年度の再認証に向けて数値的な効果検証を進めていくために、各分科会で重点化する取組を設定。取組を着実に進めていくため、新たに指標を定め、進捗管理を実施。

・プロモーション活動

再認証に向けてセーフコミュニティの認知度を高めるため、メッセージコンクールやのぼり旗、名刺等での地域への露出などにより、認知度が11.3%から21.9%へと倍増。今後は認知度50%を目指して、より戦略的に広報活動を進め、セーフコミュニティの活動の輪を広げていく。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

・セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、栄区で行われている自治会・町内会を中心とした活発な地域活動を、関係機関や行政と一体感を持って進めることができている。

## 添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

■添付1：推進協議会メンバーのリスト

■添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

■添付3：対策委員会メンバーのリスト

■添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

添付5：アセスメントに関する資料

添付6：市民へのフィードバックに関する資料

■資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等

■資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。  
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。